

社協だより 萩



募集します

しあわせ写真コンテスト

このコンテストは、写真を通して世代間交流を図ったり、生きがいづくりに取り組み、日常生活にある笑顔・ふれあい・助け合い・交流する「しあわせな姿」を残し、いつまでも語り継いでいこうとするものです。

身近な地域の福祉を推進することは、こうしたステキな光景がたくさん溢れるということでしょう。たくさんのステキな一コマをお待ちしています。



Vol. 44

2012
6/1



新たな範囲で進める

地域の福祉活動

私たちの地域では少子高齢化が進み、50世帯未満の町内会等は全体の7割を占めています。また、地域の人間関係の希薄化も叫ばれ、新たな助け合いが求められています。そこで、平成22年度から3年間7地区をモデル指定しました。ここでは、福祉活動を進める委員会が結成され、地域ニーズの把握と解決に向けた新たな取り組みが始まっています。今回は、小川、吉部地区を紹介します。



小川地区

果樹栽培や農業中心の小川地区は、504世帯、人口1127人、高齢化率49%です。

小川地区福祉活動推進委員会は、10名の委員が地域の声を直接よく聞き、地域住民でできる活動を応援、また委員会が中心となって新たな活動を企画しています。

ミニサロン活動

社会福祉協議会では、小川地域の5ヶ所で月1回、ふれあいサロンを行っています。ふれあいサロンは、もともと身近な地域（集落）での交流や情報交換を行うミニサロンを推進してき



ました。この2年間に4ヶ所で始まり、今では、集落住民の応援を受けて、自由な思いで運営、参加されています。



よく聞き、情報不足解消

「買い物をしたいが、お店が遠い。行くことが大変」という声を高齢者の方々からよく聞きます。そこで情報不足となりがちな一

認知症への取り組み

小川地域も、認知症高齢者が徐々に増加傾向にあります。認知症を正しく理解し、地域で見守る仕組みづくりが求められています。そこで年1回、小川地区全住民を対象とした認知症講座を始めました。また、今年度からは認知症予防教室も計画しています。

吉部地区

トマトや大根などの有機農業の里の吉部地区は、481世帯、人口1065人、高齢化率45%です。吉部地区小地域推進委員会では、9名の委員が改めて地域の課題を整理しながら、元気で暮らしやすい地域となるように、毎月話し合いを重ねてきました。

アンケート調査と見えてきた課題

地域の人の声を聞くため、全世帯を対象としたアンケート調査を行いました。高齢者の方は委員が直接聞き取りをし、老人クラブの

会合でも意見を聞くなどの工夫をしました。

アンケートからは、交通・移動手段の問題、家業の伝承、医療問題、地域のリーダー不足、孤立死への不安などの課題があげられました。その後、委員会では、行政への要望を行うとともに、地域住民でできる活動について検討しました。

サロン設置を応援

身近な地域で気軽に集える場として、委員会でサロン応援講座を行いました。その後、新たに2ヶ所でサロンが立ち上がりました。



居場所づくり

集落を基本とするサロン活動とは別に、地域の誰もが気軽に立ち寄ることができる居場所として、ボランティアによって運営されている阿知須の「元気ハウス」の視察研修を行いました。吉部地区でも具体化するよう、引き続き検討を重ねています。



緊急連絡あんしんカード

今年は、桃色です。

① 救急通報

「119番」または「緊急通報装置」で、救急車を呼びます。



※既に設置されている中には機種が異なる場合があります。

② 発見・確認

救急隊員が「緊急連絡あんしんカード」から医療情報等を確認。



カードは、冷蔵庫に貼ります。

③ 搬送

可能ならかかりつけ医療機関に搬送、そうでない場合は他の救急病院へ。



● 救急搬送時の対応強化

あんしんカードは、かかりつけ病院、疾病、飲んでいる薬、親族の連絡先等の情報が一目でわかり、救急本部や搬送先の医師と連携して救急医療に活かすものです。

● カードは毎年、更新

古い情報のままでは、迅速で適切な処置を受けることができないため、情報は常に最新のものに書き換えましょう。

● お薬手帳や薬の説明書を入れる

ポケット付きなので、お薬手帳や薬の説明書（薬剤情報提供書）を入れることができます。持病や服薬等の医療情報を確認することで、適切で迅速な処置ができます。

● 冷蔵庫に貼る

救急隊員がすぐにカードを見つけることができるために、必ず冷蔵庫に貼っておきましょう。（マグネット付き）

地域の福祉力を強め

ふつうにくらせるしあわせづくりを進めました



単身世帯の増加、近隣住民同士のつながりの希薄化が進む社会の中で、互いの顔が見える範囲で集まって話し合い、新たな助け合い・支え合いの仕組みづくりを行うこと。そうした地域の皆さんが主役の活動を念頭に、小地域福祉活動の推進を図ってきました。

●小地域福祉活動推進事業

モデル指定7ヶ所の小学校区程度の小地域福祉活動推進委員会は、2年目を終えました。月1回程度の話し合い（委員会）から、サロン交流会や広報誌の発行、地域住民の認知症への理解を深める研修会などを企画・実施されるようになりました。

●町内会などでの見守り・支え合い活動を応援

日常的な見守り・支え合い体制の充実を図るため、地域の課題解決を図る町内会など40ヶ所に対して、その経費の一部を補助しました。

また、34ヶ所の町内会などで見守りネットワーク会議を行いました。

●ふれあい・いきいきサロン

身近な地域の出会い・交流の場であるサロン活動は、約100ヶ所で楽しく活動されています。町内会等による見守り・支え合い活動のための話し合いから新たにできたところもあります。

また、サロンお世話人を対象に転倒予防体操の講習会や活動の様子を情報交換し合う連絡会を開催しました。

●認知症予防教室

9月から6ヶ月間行った脳の健康学習会では、40名の受講者が脳のトレーニング方法を習得されました。25名のサポーターにとっても、ボランティア活動になりました。

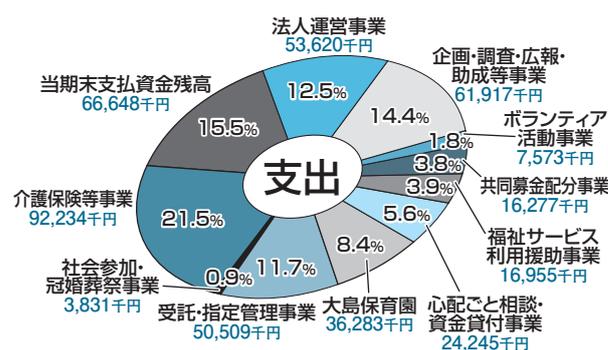
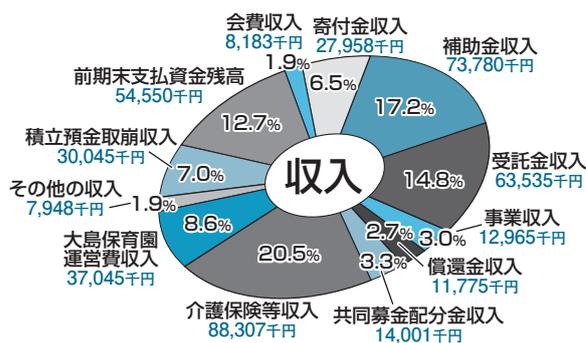
●認知症になっても安心して暮らせる町づくり事業

単なる物忘れとは違う認知症について正しく理解し、温かく見守るための認知症サポーター養成講座。企業や町内会、子ども会、生涯学習グループなどでも行い、萩市のサポーターは4000人を超えました。

●ボランティア活動

読み聞かせボランティア養成講座やボランティア活動者の交流会を開催しました。また、学校での高齢者疑似体験やアイマスク体験、手話、点字の学習を支援しました。

平成23年度決算概要



総額 430,092千円

地域の福祉 あれこれ

4/13

いつまでも元気なむつみ

ボランティア連絡協議会の総会が行われました。6年前から延べ800人が参加した「ゴミO活動」を振り返り、これからの新たな団体との協働やボランティア活動の活性化について熱心な協議が行われました。

「いつまでも元気なむつみ」を目指して、その後の研修で県ボランティアセンターから「参加勧誘の1押しヒント」をいただきました。また新しい仲間が期待できそうでした。



むつみ

5/3

地域を元気にしたい

今年で9回目を迎えた萩往還まつり「技・明木展」は、県内外から多くの出展者・来場者で賑わいました。

そこに、明木の福祉を推進する団体「住みやすい明木を育てる会」も初出店しました。地域の方の「元気で楽しく過ごしたい」という願いを少しでも応援したい。育てる会のことをたくさんの人に知ってもらいたい。そんな

思いからの参加でしたが、出展者同士の交流、来場者との出会いにふれることのできた貴重な体験となりました。



明木

4/25

できる人ができることを

今年度から老人クラブの総会後に研修会を開催することになりました。

今回の講師は、老人クラブ会員です。新聞紙を利用したごみ袋が紹介されました。このクラブは、これまでも新聞紙のごみ袋以外にも、古着で作った座布団を福祉施設へ届けていました。

このように、それぞれの特技などを教え合い、交流が深まっていくといいですね。



須佐

5/20

ふうせんで学ぶ思いやり

玉江地域親子子ども会交流会で、ふうせんバレーボールを行いました。チームの6名（3名以上は障がいのある選手）全員がふうせんを触り、相手コートに返すというルールがあります。仲間がふうせんに触りやすいように、やさしくパスするなど、自分たちで考え協力しながら、ふうせんを追いかけました。

子ども達の交流と人権教育の一環として活動が続けられており、子ども達、保護者がより一層親睦を深めるとともに「思いやりの心」を学んだ楽しいひとときでした。



山田

善意銀行 ありがとうございます

香典返し・玉串料返し・花料返し

本人の承認を得たもののみを掲載しています。
※平成24年3月1日～4月30日受付分（敬称略）

氏名	住所	備考	金額
萩			
伊藤 良範	大井坂本	母／孝	金一封
永田 信子	大井七重	夫／幸生	金一封
吉川 敏治	椿	父／高治	金一封
田村 正治	前小畑2区の3	母／一女	金一封
土田 太子	越ヶ浜2区の2	夫／稔	金一封
池永 典男	平安古西区の2	父／利夫	金一封
加藤 浩昭	防府市清水町	父／健助	金一封
大山 寿子	椎原の2	夫／典行	金一封
兼田 節子	川島3区の1	夫／佳和	金一封
廣石 妙子	土原3区の4	母／松江	金一封
金谷 輝一	大井浦中	祖父／萬吉	金一封
多賀 豊	越ヶ浜6区	母／シツエ	金一封
厚東 信子	越ヶ浜2区の1	夫／満	金一封
山本 勉	中ノ倉の2	父／勇	金一封
阿川 基子	青海	夫／典夫	金一封
井町 和美	城東北区の2	父／實夫	金一封
大森 節子	中ノ倉の2	夫／幸雄	金一封
來嶋 勲	玉江2区の2	母／シズ子	金一封
磯部 賢治	倉江の1	母／清子	金一封
五嶋よしみ	金谷の2	夫／和美	金一封
田中 作治	前小畑1区	父／潔	金一封
中村 正也	熊谷町の1	父／隆輔	金一封
片山 章	御許町の3	母／ヨネコ	100,000円
藤本 秀明	江向1区の5	父／彰	金一封
売豆紀雅昭	土原3区の2	父／勝彦	金一封
伊藤 富代	沖原	夫／禮之	金一封
小田 賢治	三見浦5	母／シズ子	金一封
大田 稔	大井坂本	父／梅雄	金一封
田原 博	雑式町	母／英子	金一封
阿武 眞平	大井羽賀	母／馨子	金一封
福原 令子	三見蔵本	夫／弘明	金一封
上田 拓弥	玉江浦1区の3	母／八重子	金一封
服部 浩	金谷の1	母／美智子	金一封
飛田 文雄	新川東の2	父／和正	金一封
伊藤 健	土原1区の3	父／重次	100,000円
佐々木勝之	笠屋	母／静江	金一封
南 麗子	城東南区の1	夫／健治	金一封
中野やす子	相島下	夫／成徳	金一封
荒瀬 龍治	平安古西区の3	父／右太	金一封
金子 吉春	三見浦2	父／一	金一封
天谷 泰	中ノ倉の1	父／廣一	金一封
三浦 孝夫	東浜崎2区の2	母／キヨ子	金一封
田村 康史	土原2区の1	父／實	金一封
平井 金次	大井港上	父／久男	金一封
堀 忠徳	大井港浜の2	父／芳三郎	金一封
豊田 進	平安古東区の1	母／クニエ	金一封

氏名	住所	備考	金額
柳井 明彦	三見浦3	父／将男	金一封
今田耕太郎	沖原	母／キミエ	金一封
後藤 悦也	堀内2区の3	母／ツル	金一封
宮木 久司	三見床並	父／勉	金一封
河村 晶子	土原2区の2	母／智代子	金一封
黒川 清人	中津江の1	母／井町文香	金一封
浅松 克彦	無田ヶ原の2	父／百合男	金一封
池田 道正	香川津の1	母／夫佐子	金一封
宗村 和昭	土原1区の2	妻／和子	金一封
原田 朝子	東木間	夫／英雄	金一封
山口 育男	見島8区	父／猛	金一封
正木 健	見島9区	父／松雄	金一封

川 上

竹下 雄二	下松市	父／晴次	金一封
岡本 和代	山田	夫／文一	金一封

田 万 川

河村 順二	下郷	父／和雄	金一封
栗山 昭夫	小川11区	母／ヒサ子	金一封
井上 康男	小川21区	母／喜久子	金一封
益成 和伸	小川24区	妻／愛子	金一封
紙本 好弘	小川4区	父／茂夫	金一封
岡 富男	松崎	姉／芳枝	金一封
山田 照夫	要二	妻／ミツコ	金一封
中島津千男	小川7区	母／てる子	金一封
島田 恵市	下本郷	父／清	200,000円
平田 光範	小川2区	母／タケ子	金一封

む つ み

岩城 久江	広島県広島市	父／下瀬満盛	金一封
金田 和能	大光寺	母／ツルヨ	金一封
藤井 朋美	下領	父／輝親	金一封
山本 武	後井	妻／洋子	30,000円
大野 幸延	安附	妻／英子	金一封
中野 龍夫	中央	父／一郎	金一封

須 佐

川島 和広	浦西	義父／幸治	50,000円
仁保千代子	北谷	夫／勇	金一封
谷永 善和	押谷	母／フサヨ	金一封
橋本 和典	青葉台	母／里子	金一封

旭

藤本 徳昭	同前	父／博	金一封
安藤 則孝	上市	父／文雄	金一封
原 紀子	上市	夫／誠一郎	200,000円

福 栄

森田 律子	下蕨野	次女／登志恵	金一封
松原 優	栗原	妻／勝子	金一封
佐々木ミサ子	京場	夫／文廣	金一封

一般寄付

氏名	住所	備考	金額
萩			
山口新聞社	下関市東大和町		50,000円
匿名			10,000円
匿名			2,234円
松浦 芳江	土原1区の1		金一封
(有)西日本工業社員一同	上野の1		6,320円
萩ライオンズクラブ			100,000円
香原 和雄	樽屋町		金一封

氏名	住所	備考	金額
33歳祝い一同			
大島赤穂瀬先 一膳寄付			
田万川			
介護サービスぬくもり 要二			金一封
須佐			
宇野 ツチコ	弥富5区	見舞い返し	金一封
旭			
杉山 貞美	長小野		金一封

物品寄付

物品名	氏名	住所
萩		
車いす1台	山口トヨペット株式会社	
子供用車いす3台	井本 孝浩	
田万川		
紙おむつ	井上 康男	小川21区

物品名	氏名	住所
むつみ		
書き損じハガキ50枚	岩本みよ子	岡田

香典返し・一般寄付合計 111件4,920,341円、内指定寄付 23件644,000円（3月1日～31日）

善意銀行は、地域福祉活動推進の貴重な財源となっています。どうかご協力ください。

寝具消毒乾燥サービス事業

日常的に使用する寝具を洗濯・消毒・乾燥することにより、清潔で快適な生活が送れるよう支援します。

- 対象者 心身の障がい及び疾病等の理由により、自力または他の福祉サービスの利用、家族の支援によっても寝具の衛生管理が困難な方
- 利用料 1枚あたり掛布団1,470円、敷布団1,470円、毛布580円
- 利用限度 1回につき掛布団・敷布団1枚、毛布3枚まで。(年2回)
- 申請締切 6月末(1回目)、2月末(2回目)
- 申請方法 各地区の在宅介護支援センター相談員が自宅まで訪問、代行申請
- 問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所、各地区の在宅介護支援センター

第7回しあわせ写真コンテスト

日常生活の中にある笑顔、ふれあい、助け合い、交流など、しあわせ(福祉)を題材として撮影した写真の募集を行います。

- 募集期間 7月1日(日)～8月31日(金)
- 応募資格 萩市内在住、または通勤、通学されている方
- 応募規格 ワイド4つ切版、4つ切版、A4版
- 対象写真 3年以内に撮影した自作品で未発表のもの
- 応募方法 カメラのアート商会、カメラのキタムラ萩店、萩市社会福祉協議会本所・各事務所に備付けの応募票にて提出。(電子メールでの応募も可)
- 表彰 入選作品には、賞状及び副賞があります。
- 問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

サポートファイルを知っていますか?

萩市手をつなぐ育成会連合会では、同じ悩みを持つ仲間が同じ時間を共有する情報交換と研修会を年4回程度行われています。

- 日時 6月7日(木) 9:30～12:00
- 場所 萩市総合福祉センター 集会室
- 参加費 100円
- 対象者 障がいのある方のご家族・保護者、育成会会員
- 内容 サポートファイルの概要と活用方法
- 問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所

第50回記念「芸能の夕」

障がい者と健常者の共生社会を目指し、誰もが幸せを感じることができる地域社会を実現することを目的にチャリティーコンサートが行われます。たくさんのご来場をお待ちしています。

- 日時 7月1日(日) 昼の部13:00～
夜の部18:00～
 - 場所 萩市民館 大ホール
 - 入場料 500円
 - 主催 萩市手をつなぐ育成会連合会
 - 問合せ 萩市社会福祉協議会本所・各事務所
- *「いきいきのびのびふれあい表現活動展」を市民館小ホールにおいて同時開催します。(入場無料)

編集室

高齢化率が高いことは、地域に元気な方がたくさんいらっしゃることであります。課題もありますが、皆で集まって話し合えば、糸口を見い出すことができると思っています。そんな場が、必要なのかもしれない。(た)

ひとりぼっちで子育てしているお母さんをなくそう！

新日本婦人の会萩支部 事務局長 沼澤 妙子



私たちの会が運営する「赤ちゃん親子リズムきりん」は、萩市で活動しているママ達みんなで作る子育てサークルとして、「ひとりぼっちで子育てしているお母さんをなくそう」を合言葉に発足しました。昨年度までは、堀内体育館で活動していましたが、今年4月からは毎月第一、三日曜日の10時から萩市立児童館で行っています。児童館にチラシがありますので、参考にしてください。

赤ちゃんリズムでは、ベビーマッサージ、歌、手遊びなどをしていきます。特にベビーマッサージは、親子のふれあい、赤ちゃんの安らぎを得ることによって、赤ちゃんの生命力を活発にし、心や体の発達に良い影響を与えます。

親子リズムでは、6ヶ月頃の赤ちゃんもできる動きもあり、全身の緊張をとり、脳に刺激を与え、大人にも心や体の発達に良い影響を与えます。「わに」という動きは、ハイハイを始める7〜8ヶ月頃からでき、手足の指先の発達を促します。「金魚」の動きは、筋肉を柔らかくします。「あひる」は、足腰を鍛えるなど、

一つ一つの動きには大切な意味があり、他にも豊富な種類の動きを音楽に合わせて行います。親子で楽しめるので、お母さんの運動不足解消にもなり、一石二鳥です。

会員が減少しています。たくさんのお母さんと子どもたちに集まっていただき、大勢で楽しく活動できることを願っています。お気軽に、遊びに来てください。お待ちしております。

新日本婦人の会は、1962年10月19日、平塚らいてう（女性運動家）、野上弥生子（作家）、いわさきちひろ（童画家）など各界の女性32人の呼びかけで創立されました。現在、20万人超の会員からなる日本で一番大きな個人参加の女性団体で、一人ひとりの会費で自主的に運営されています。また2003年には、国連のNGOとしても正式に認められました。

